

お知らせとお願い

鹿児島市立病院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性があると思われる方で、本研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	当科における重症膵炎後合併症に対するLumen Apposing Metal Stent (LAMS) 使用例の検討
実施予定期間	倫理審査委員会承認後 ~ 2025年3月31日
研究の対象	(対象期間・対象診療科・対象疾患) 2019年1月1日~2023年12月31日に、鹿児島市立病院 消化器内科にて重症膵炎後の合併症(仮性嚢胞(PPC)または被包化膵壊死(WON))や術後膵液漏に対してLAMS(超音波内視鏡(EUS)専用のステント)を留置した方
使用する情報等	患者背景:年齢,性別,重症膵炎の原因,重症度判定予後因子,CT grade,合併症の種類(PPC,WON,術後膵液漏)等 LAMS留置について:LAMS留置前後でのWBC,CRP,Amy,リパーゼ,病変長径(CT),LAMS留置手技時間,LAMSのサイズ,LAMS以外の内瘻(プラスチックステント)・外瘻チューブの有無,発症日からLAMS留置までの期間,LAMS留置から退院または転院までの期間,ネクロセクトミーの回数,再発の有無等
研究の概要	目的:重症膵炎後合併症であるPPCやWONに対し,LAMSを用いて治療した症例のデータの解析を行い,当院におけるLAMS使用の有益性や安全性を検討する。この研究を行うことで,当院におけるLAMS留置についての成績を明らかにし,院内外に情報発信することが出来る。
倫理審査	鹿児島市立病院治験及び臨床研究審査委員会承認され,病院長の許可を受けて実施しています。
個人情報の保護	収集する情報項目に氏名や住所は含まれません。研究対象者の識別は研究目的に特別に割り振られた研究番号を使って管理し,対応表を作成します。対応表が院外に出ることはありません。
研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。
結果の公表	研究結果は国内外学会での発表及び論文として関係雑誌に投稿予定です。
知的財産権	本研究により得られる知的財産権は鹿児島市立病院に帰属します。
研究の資金源	本研究を実施するにあたり,資金提供は受けていません。
利益相反	特にありません。
お問い合わせ先・相談窓口	病院ホームページにおいて研究について公開し,問い合わせ等に応じて,患者さん等からのご希望があれば,その方の情報は研究に利用しないようにします。 なお,既に解析・発表公開後のデータ等については,その方のデータ削除の措置が困難になる場合があります。 研究への使用の拒否の意思を表明されても,鹿児島市立病院における診療には全く何の影響もなく,いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。 研究責任者 氏名:田口 宏樹 所属:消化器内科 連絡先:鹿児島市立病院 〒890-8760 鹿児島市上荒田町37番1号 TEL:099-230-7000(代表) FAX:099-230-7111